

Title	歯科医学英語の授業（基礎編）III：教え方の工夫とKey Word List
Author(s)	柴家，嘉明
Journal	東京歯科大学教養系研究紀要，25(): 1-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/1417">http://hdl.handle.net/10130/1417</a>
Right	

## 歯科医学英語の授業 (基礎編) Ⅲ

### — 教え方の工夫と Key Word List —

柴 家 嘉 明\*

基礎編Ⅲでは、実際の歯科医学英語授業において、学生による理解を特に容易にしたと思われた提示内容をいくつか紹介したい。そして最後に、授業で扱う歯科医学英語基本 Key Words 約400語を載せる。

#### [1] 教え方の工夫

##### 1) cavity と decay と caries

	<u>cavity</u> /kævəti/	<u>decay</u> /dikéi/	<u>caries</u> /kæriz/
複数形	cavities	——	caries
一般／専門	一般的	一般的	専門的
もとの意味	「空洞、穴」	「腐食」	「傷害、死」 <sup>(註1)</sup>
動詞	無	有	無
正式の名称	cavity	tooth decay	dental caries
例文	There are three <i>cavities</i> in the lower back teeth.	There is <i>decay</i> under this filling. This tooth is badly <i>decayed</i> .	The purpose of your daily home care is to prevent dental <i>caries</i> .

\* 「虫歯」とも「う蝕」とも訳される3語であるが、それぞれの違いを表にしてみた。cavity の使い方には特に注意を要する。これは本来「空洞、穴」という意味であるから、たとえば「う蝕を除去する」という意味で “to remove a cavity” とは言えない。「空洞、穴」そのものを除去することは不可能だからである。そこで「穴を持った歯を除去する」すなわち “to remove a tooth with a cavity”

\*東京歯科大学 英語研究室

とすると、「穴（＝虫歯）を持った歯を除去する（＝抜く）」（＝to extract a tooth with a cavity）という意味となり、「う蝕（部分）を除去する」とは異なる意味になってしまう（「う蝕（部分）を除去する」は“to remove decay”で表す必要がある）。また、the oral cavity は「口の穴、空洞＝口腔」の意味であることも付け加えるとよいであろう。

## 2) dentistry の意味

dentistry  $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{ 歯科医療} = \text{dental treatment, dental health care, dental services} \\ 2. \text{ 歯科医学} = \text{dental science} \end{array} \right.$

\*dentistry は「歯科医療」の意味が「歯科医学」よりもはるかに強い。したがって学問としての「歯科医学」には dental science を用いる方が正しく伝わる。たとえば「歯科補綴学」、「歯科材料学」のような「種類」を頭に描いて言う場合は dental sciences と複数形を用いる。（dental sciences = kinds of dental science）

## 3) 「痛み」の関連語

### ① 名詞

*pain*（最も一般的な「痛み」）

（例文：When did you begin to have  
*pain* ?）

*ache*（持続的でかなり強い「痛み」）

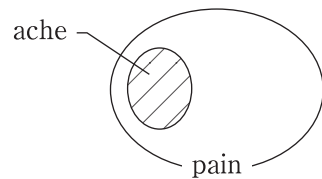
（I have a toothache.）

*discomfort*（*pain* の間接的表現）

（Is there any *discomfort* ?）

*soreness*（ひりひりするような「痛み」）

（There will probably be some *soreness* for a day or two.）



\*右上図のように *pain* は *ache* を内包する関係にあることを確認したい。たとえば「手をつねられて痛い」時の痛みは、一時的であるから *pain* ではあるが *ache* ではない。一方「歯の痛み」は、持続的であるから *ache* と言えるが、*pain* でもある。（例文）I have a dull *pain* in my back teeth.

② 形容詞

*painful* (最も一般的な「痛い」。主語は [人以外])

(This tooth is *painful*.)

*uncomfortable* (*painful* の間接的表現。主語は [人以外/人])

(This tooth is *uncomfortable*.)

(How long have you been *uncomfortable*?)

*sore* (ひりひりするような「痛い」。主語は [人以外])

(My gums are *sore*.)

*sensitive* (過敏な/しみるような「痛い」。主語は [人以外])

(This tooth is *sensitive* to cold.)

③ 動詞

*to hurt* (最も一般的な「痛い」。主語は [人以外])

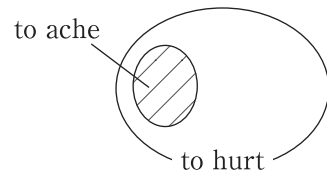
(This tooth *hurts*.)

*to ache* (持続的でかなり強い「痛い」。主語は [人以外])

(This tooth *aches* constantly.)

*to bother* (= to give pain to - の意味。主語は [人以外])

(This tooth has *bothered* me for a couple of days.)



\* 右上図のように *to hurt* は *to ache* を内包する関係にあることを確認したい。名詞の場合と同様、たとえば「手をつねられて痛い」時の「痛い」は、一時的であるから *to hurt* ではあるが *to ache* ではない。一方「歯の痛み」は、持続的であるから *to ache* と言えるが、*to hurt* とも言える。(例文) This tooth has been hurting for three days.

④ 「痛み」の種類

a dull pain 「鈍い痛み」 ↔ a sharp pain 「鋭い痛み」

an occasional pain 「時々起こる痛み」 ↔ a constant pain 「絶えず続く痛み」

a slight pain 「わずかな痛み」 ↔ a severe pain 「激しい痛み」

a throbbing pain 「ズキズキする痛み」

4) crown の 2 つの意味

crown  $\left\{ \begin{array}{l} \text{歯冠（＝歯の、口腔内に現れている部分）} \leftrightarrow \text{root} \\ \text{クラウン（金属冠）} = \text{cap（世俗的な言い方）} \end{array} \right.$

5) the teeth の 2 つの意味

the teeth  $\left\{ \begin{array}{l} \text{これらの歯（＝2本以上の特定の歯）} \\ \text{歯全体（＝人体の一部としての歯）} \end{array} \right.$

\*たとえば “to straighten the teeth”、 “to keep the teeth together” という場合、the teeth はその人の「歯」全体を指す。一方、“Can you extract the teeth, Doctor?”、“The teeth are crooked on that side.” という場合、the teeth は「これらの歯」を指す。前者は「人体の一部」に用いられる the の用法で、この用法の基本にあるのはやはり「特定の」の意味である。（例）the head

6) the patient の 2 つの意味

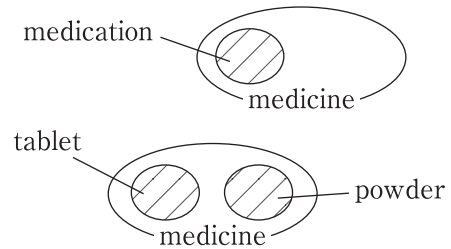
the patient  $\left\{ \begin{array}{l} \text{この患者（＝一人の特定の患者）} \\ \text{患者というもの（＝患者全体）} \end{array} \right.$

\*たとえば “Nowadays the doctor can be sued by the patient for not telling them what was wrong.” という文で、the doctor = doctors、the patient = patients の意味である（doctors、patients と定冠詞がなく、すなわち不特定）。つまりこれらは言い換えが可能で、普通の会話などでは後者の表現を用いるが、formal な場では the + [単数形] で、不特定の複数の意味を表すことがしばしばあることに注意したい。単数で代表させるので「代表の the」と説明すると分かり易いかもしれない。またこの用法は、「数えられる名詞（可算名詞）」においてのみ可能であることも注意したい。

7) 「薬」の関連語

medicine（最も一般的な言い方。範囲も最も広い = drug）

medication (「処方薬」 =  
prescription)  
tablet (「錠剤」 = pill)  
powder (「粉末薬」 ≠ tooth  
powder 「歯磨き粉」)



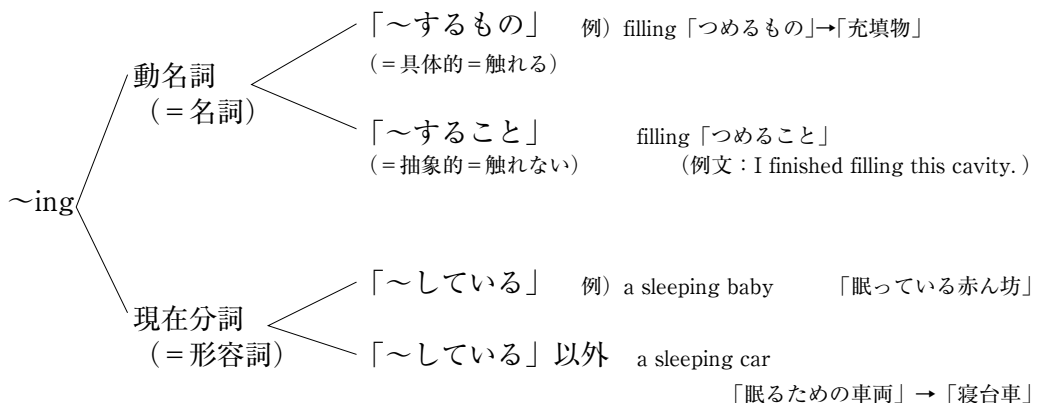
\* 図のように、medicine は medication を内包する。また同じく medicine は、tablet と powder とを内包する関係にある。たとえば「市販薬」 (= over-the-counter drug) は、medicine であるが medication でない部分に入ることになる。prescription には「処方箋」と「処方薬」の二つの意味があることにも注意したい。

### 8) 2つの「麻酔」

「麻酔」  $\left\{ \begin{array}{l} \text{anesthetic ( = より正確には「麻酔薬」)} \\ \text{anesthesia ( = より正確には「麻酔薬の使用」 = the use of anesthetics)} \end{array} \right.$

\* たがいに言い換え可能である場合もある。(例文) Will I need a local anesthetic for this? = Will I need a local anesthesia for this? ただし、しばしば使われる “to give an anesthetic” には、「麻酔薬」の意味である anesthetic の方のみ用いられる。“anesthesia” を用いると、「麻酔薬の使用を与える」の意味になってしまう。(例文) I will give you an anesthetic so there will be no discomfort.

### 9) ~ing 形



\* ~ing 形は動名詞と現在分詞の2つの種類があるが、前者は名詞の働きをするが故に、「具体的」と「抽象的」との2つの意味に分かれる。

この動名詞は、一般の英語においては、抽象的な意味である「～すること」の場合が多い反面、医学英語においては、医学が具体的世界を扱う学問であるが故に、具体的な意味である「～するもの」の場合が多い。（後者の例：swelling「腫れるもの（＝触れる）」→「腫れ」、bleeding「出血するもの（＝触れる）」→「出血（した血）\*出血というプロセスでなく」） ~ing 形が動名詞であると判断された時に、それが具体的か抽象的かのいずれであるかを見分ける習慣をつけさせたい。

また、現在分詞は形容詞の働きをするが、これが意味の上で「～している」（＝進行形で言い換え可能 例：a sleeping baby = a baby who is sleeping）と、「～している」以外（＝進行形で言い換え不可能 例：a sleeping car ≠ a car that is sleeping）との2つに分かれることにも注意したい。（後者の例：eating habits「食習慣」、chewing difficulties「咀嚼困難」、biting pressures「咬合圧」）

#### 10) the の本当の意味

「特定の」を表す無数の語（my、your、this、that、these、those、Mr. Kato's、Ms. Smith's、..... the）の中で最も便利な語。

\* “my” を人称代名詞、“this” を指示形容詞、“the” を定冠詞と別々にとらえるのではなく、これらを全てまとめて [「特定の」を表す語] として大きく理解すべきである。

実際のところ、“my” や “this” 等の方が、より細かい意味が伝わるという点で、“the” に優っている。しかし、言及のたびに “my” や “this”、あるいは “Mr. Kato's” 等とするのは面倒である。したがって最も便利な語として “the” が使われる、と考えるのが、“the” の言わば実践的理解であろう。

#### 11) 「可能性」を表す助動詞<sup>(注2)</sup>

will >	would >	should >	may >	might >	could
95~100%	90~95%	80~90%	30~50%	25~50%	20~40%

\*特に may に注意したい。確率としては基本的に50%以下であることを認識す

る。訳としては「～する可能性がある」、「(もしかしたら)～するかもしれない」が正しく、「～するだろう」は不適切である。

12) 「可能性」を表す副詞<sup>(注3)</sup>

certainly	>	surely	>	probably	>	likely	>	perhaps=maybe	>	possibly
90~100%		90~95%		80~90%		70~80%		30~50%		0~40%

\*これも特に50%以下である perhaps と maybe に注意したい。may とこの2語は、ほぼ同じ確率を表す。したがって訳も「もしかしたら」、「～の可能性がある」であって、「たぶん」は不適切である。ただしこの maybe は science においては用いられない。surely も同様である<sup>(注4)</sup>。主観的な意味が強すぎるのであろう。授業では、この2語(それに加え、“I guess”などの主観的表現)は、science に関するディスカッションや論文執筆の際には使わないよう指導することも有効であろう。

13) can ≠ may

\*両者とも「可能性」を表す語であり、だいたい同じ30~50%の確率でありながら、この二語は基本的に言い換えることができないことに注意したい。

may は上の11) に並ぶ他の単語同様、「現在または未来において、実際に起こる可能性」を表す。一方 can は、「原理的、論理的に考えられる可能性、または仮定として『～がありうる』と考えられる場合の可能性」を表す<sup>(注5)</sup>。(may には「可能性」のほかに「許可」等、また can には「可能性」のほかに「能力」等の意味があるが、ここではあくまでも「可能性」の意味での比較である)

(例文) The tooth may become infected if the decay is severe.

(「歯科英会話入門」大庭秀一、Donald G. Halliday 著 南雲堂 p.186)

Loose teeth can become infected very easily.

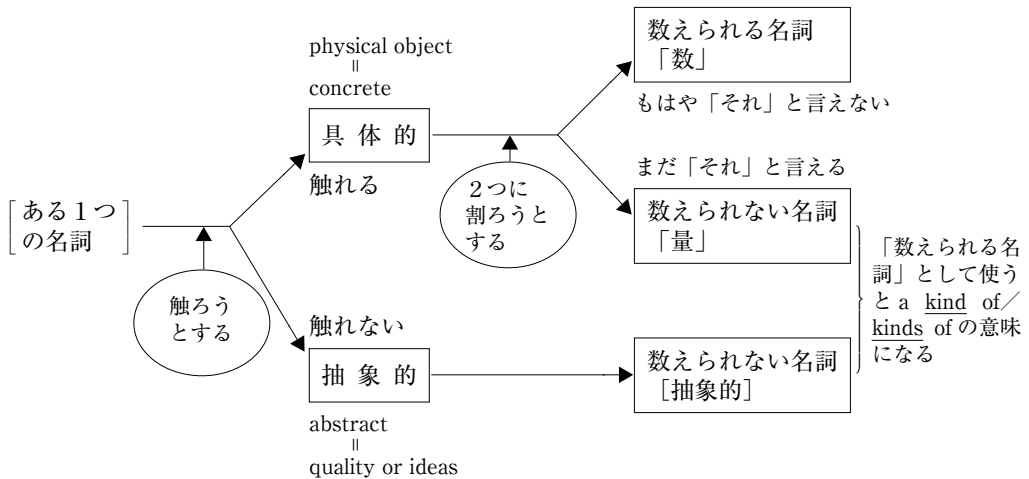
(同書 p.152)

上の例文で、同じ“become infected”が続いていても、may の方は、Doctor がある特定の患者の症例について「実際に感染する可能性がある」と述べているのに対し、can の方は、Doctor が特定の症例についてではなく、一般論とし



で、「原理的、論理的にあり得る」と言っていることを確認したい。この may と can は、science において実に頻繁に使われる語であるだけに、両者の区別は重要であると思われる。面白いことに、can を仮定法（subjunctive）の could とすると、上の11) の語群の仲間入りをする。

#### 14) 英語の名詞



\* 本論文の基礎編 I で扱ったテーマであるが、少し簡略化した表にまとめた。繰り返しになるが、英語において、ある特定の名詞を理解したり使ったりする場合、最も重要な態度は、その名詞の意味が本来「具体的」なのか、「抽象的」なのかを判別することであると信じる。本来の意味であるから、その中間とか両方とかの場合はない。

#### 15) 英語の名詞

「私はきのう本を買いました」

1. I bought a book yesterday.
2. I bought books yesterday.
3. I bought the book yesterday.
4. I bought the books yesterday.

「ここに水があります」

1. Here is water.
2. Here is a water.
3. Here are waters.
4. Here is the water.
5. Here are the waters.

「私は『自由』を信じます」

1. I believe in freedom.
2. I believe in a freedom.
3. I believe in freedoms.
4. I believe in the freedom.
5. I believe in the freedoms.

「英語の要は名詞である」あるいは、「英語が science の厳密性に耐え得る言語である理由は、名詞の概念が厳密であるからである<sup>(注6)</sup>」という事実を、歯科医学英語の学習者として常に忘れないでおきたいものである。

たとえば“book”（数えられる名詞 [数]）には、a book（不特定&単数）、books（不特定&複数）、the book（特定&単数）、the books（特定&複数）の4通りの言い方がある。それぞれ意味が異なる。

“water”（数えられない名詞 [量]）は、water（本来の使い方&不特定）、a water（a kind of water の意味&不特定）、waters（kinds of water の意味&不特定）、the water（本来の使い方または a kind of water の意味&特定）、the waters（kinds of water の意味&特定）の5通りの言い方がある。それぞれ意味が異なる。

“freedom”（数えられない名詞 [抽象的]）は、freedom（本来の使い方&不特定）、a freedom（a kind of freedom の意味&不特定）、freedoms（kinds of freedom の意味&不特定）、the freedom（本来の使い方または a kind of freedom の意味&特定）、the freedoms（kinds of freedom の意味&特定）の5通りの言い方がある。それぞれ意味が異なる。

すなわち日本語ならば「本」の1通りに対して英語は4通り、「水」の1通りに対し5通り、「自由」の1通りに対し5通りの言い方が使い分けられている。単純計算で3対14という、我々から見て信じ難いほど細かい区別を、英語はその名詞において行なっているのである。（これらの単語を、歯科医学英語に属する“filling”

（数えられる名詞 [数]）、“toothpaste”（数えられない名詞 [量]）、“infection”（数えられない名詞 [抽象的]）などとしても同じである）私たちはまずこの事実を受け止める必要がある。そして [不特定／特定] と [単数／複数] とにより差別化された名詞の意味を正確に理解し、また実際に使うことがきわめて重要であると言えよう。

#### 16) 「歯科医学英語学習」において最も重要なもの

##### 「音」と「名詞」

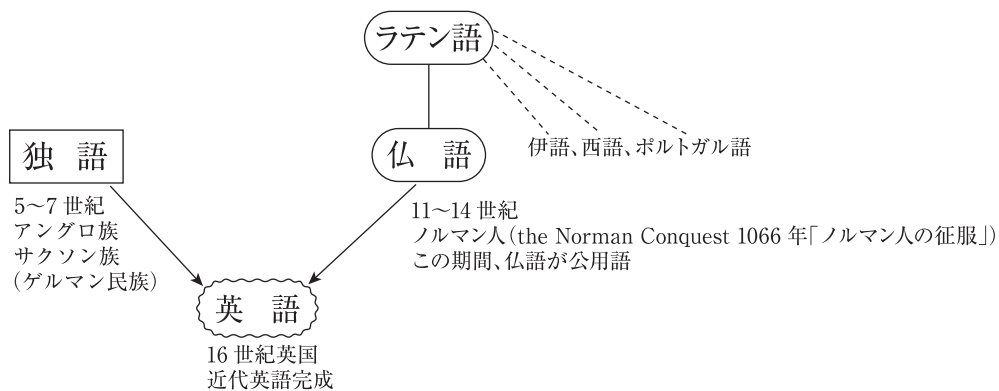
\* 英語の学習において最も重要な要素は、まず「音」であると言えよう。英語は日本語と異なり、表音文字の言語であるから、特にそうであると言える。次に、英語という言語の意味と構文 (syntax) を考えた場合、何よりも「名詞」の概念の理解とその正しい使用が重要である。

#### 17) 「歯科医学英語学習」の方法、態度において最も重要なもの

##### skills の習得 (skills > knowledge)

\* 海外から見て、日本の英語教育の最大の欠点は「英語を知識として教えていること」であるようだ。私たちには明治時代以来、英語を学問として、あるいは知識の集積として教える（学ぶ）という習慣が染み付いているようである。英語は、学問自体でも知識の集積でもなく、言語であるという基本をいつも忘れないようにしたい。歯科医学英語を学ぶ際にも、これと全く同じことが言える。

18) 英語という言語について



\*近代英語がいかなる経緯で現在の姿を持つに至ったかを、ごく単純な図で表してみた。英語は言わば、ドイツ語という父と、フランス語という母との間に生まれた子である、と言えよう。ドイツ語は骨格(構文)を、フランス語は豊富な語彙(特に学術用語)を、英語に与えた。授業で一度このような話をしておくことも、意味のあることかもしれない。

## [2] Key Word List

- A *abrasion* (β) *abrasive* (γ) *to accumulate* (α) *ache* (β) *to ache* (β) *acid* (α)  
*acute* (β) *adenoid* (s) (γ) *adjacent teeth* (γ) *to adjust* (β) *adjustment* (β)  
*adult teeth* (β) *to affect* (β) *be allergic to* – (β) *to have an allergy* (β)  
*amalgam* (γ) *to analyze* (β) *anemia* (γ) *anesthesia* (γ) *anesthetic* (γ)  
*anesthetized* (γ) *anterior* (γ) *antibiotic* (β) *to have an appointment* (β)  
*the (dental) arch* (γ) *area* (β) *art* (α) *artificial* (β) *aspirator* (γ) *aspirin* (β)  
*be attached to* – (β)
- B *baby teeth* (β) *the back of one's teeth* (β) *back teeth* (β) *bacteria* (β)  
*bacterium* (β) *bad breath* (β) *bands* (γ) *benefits* (β) *the bite* (β)  
*to bite against* – (β) *biting pressure* (γ) *to bleach* (α) *to bleed* (β)  
*bleeding* (β) *bloodstream* (β) *blood vessels* (β) *to bother* (β) *braces* (β)  
*bridge* (β)
- C *calcium hydroxide* (γ) *calculus* (γ) *canal* (γ) *to cancel* (α) *canine* (γ) *cap* (β)  
*care* (β) *caries* (γ) *case* (β) *be caused by* – (β) *cavity* (β) *chances* (α) *chart* (β)  
(dental) *checkup* (β) *to chew* (β) *chewing difficulties* (γ) *chronic* (β)  
*cleaning* (β) *to clench (the teeth)* (β) (dental) *clinic* (β) *cold* (β)  
*comforter* (β) *commercially prepared* (α) *complete denture* (γ)  
*to complete one's case* (β) *complications* (γ) *condition* (β) *a constant pain* (β)  
*consultation* (β) *contact* (γ) *to contain* (α) *to control pain* (β) *cotton* (α)  
*crooked teeth* (β) *crowded teeth* (γ) *crowding* (γ) *crown* (γ) *to cure* (β)
- D *daily routine* (α) *to dampen* (α) *tooth decay* (β) *be decayed* (β)  
*deciduous teeth* (γ) *defective* (β) *degree* (β) *the dentin* (γ) *dentist* (β)  
*dentistry* (β) *dentition* (γ) *denture* (β) *to determine* (β) *to develop* (β)  
*diabetes* (β) *to diagnose* (γ) *to make a diagnosis* (γ) *diet* (β)  
*disarrangement of the teeth* (β) *disclosing agent* (γ) *discomfort* (β)  
*disease* (β) *disorder* (β) *to dissolve* (α) *to drain* (γ) *dressing* (γ) *drill* (β)  
*a dull pain* (β)
- E *eating habits* (β) *to take effect* (β) *be effective for* – (β) *to eliminate* (β)  
*emotional problems* (α) *the enamel* (β) *endodontic* (γ) *endodontics* (γ)  
*to enlarge* (β) *examination* (β) *to examine* (β) *be expected* (α) *to expose* (β)  
*to extract* (β) *extraction* (β)

- F *facial muscles* (β) *factor* (β) *to fall out* (β) *fee* (β)  
*to put a filling in* – (β) *fangernail* (α) *fixed bridge* (β) (dental)*floss* (β)  
(dental)*flossing* (β) *follow-up appointment* (β) *to form* (β) *formation* (γ)  
*front teeth* (β) *full denture* (β)
- G *to gag* (α) *a piece of gauze* (β) *general health* (β) *the gingiva* (γ)  
*gingivitis* (γ) *gland* (γ) *to grind* (the teeth) (β) *to grow straight* (α)  
*guarantee* (β) *the gum* (s) (β) *gum disease* (β) *the gum line* (β)
- H *halitosis* (γ) *handpiece* (γ) *be harmful to* – (β) *to heal* (β) *heredity* (β)  
*high quality dentistry* (β) *medical history* (β) *to hold—securely* (α)  
*home care technique* (β) *to hurt* (β) *hygiene* (β) (dental)*hygienist* (β)  
*hypersensitive* (γ)
- I *ideal* (α) *illness* (β) (dental)*implants* (β) *implantation* (γ)  
*to make an impression* (β) *to improve* (α) *to make an incision* (γ) *incisor* (γ)  
*incorrect* (α) *to become infected* (β) *infection* (β) *inflamed* (β) *inflammation* (β)  
*to inject* (β) *injection* (β) *injury* (β) *inlay* (β) *to insert* (a denture) (β)  
*instructions* (β) *instrument* (β) *insulation* (γ) *insurance* (β) *intraoral* (γ)  
*to irrigate* (γ) *to irritate* (β) *irritation* (β)
- J *the jaw* (s) (β) *jaw relations* (γ)
- K *be kept clean* (α) *kidney disease* (β)
- L (dental)*laboratory* (β) *layer* (β) *length* (α) *less expensive* (α)  
*liver disease* (β) *local anesthetic* (γ) *localized* (γ) *loose* (β)  
*to loosen* (β) *loss* (β) *the lower teeth* (β)
- M *malocclusion* (γ) *mandible* (γ) *mandibular* (γ) *margin* (β) *maxilla* (γ)  
*maxillary* (γ) *measuring instrument* (β) *to put medication* (γ) *medicine* (β)  
*metal* (α) *milk teeth* (β) *minor adjustment* (β) *to miss* (α) *missing teeth* (β)  
*mobile* (β) *mobility* (γ) *model* (β) *molar* (γ) *mouth breather* (β)  
*mouthwash* (β) *to move the jaw* (to the right and left) (β)
- N *to neglect* (β) *nerve* (β) *non-removable bridge* (β) *normal tooth growth* (β)  
*numb* (β) *to numb* (β)
- O *an occasional pain* (β) *occlusion* (γ) *to occur* (β) (The bite is) *off* (β)  
(dental)*office* (β) *opening* (γ) *operation* (β) *operative dentistry* (γ)  
*opposing teeth* (γ) *oral and facial deformities* (γ) *oral habits* (β)  
*oral physician* (γ) *oral surgeon* (β) *oral surgery* (β) *orthodontic appliances* (γ)

*orthodontist* (γ)

- P *pacifier* (β) to *pack into* - (α) *pain* (β) *painful* (β) *palate* (γ)  
*partial denture* (β) *pathological* (γ) *patient* (β) *penicillin* (β) to *perform* (β)  
*periodontal* (γ) *periodontitis* (γ) *permanent teeth* (γ) *physician* (β) *pill* (β)  
to *place* (β) (bacterial) *plaque* (β) *plaster* (β) *plate* (β) to *polish* (β)  
*porcelain* (β) *post-operative care* (γ) *posterior* (γ) *pregnant* (α) *premature* (β)  
*prematurely* (β) *premolar* (γ) *prenatal development* (β) *preparation* (γ)  
to *prescribe* (β) *prescription* (β) to *preserve* (β) to *prevent* (β)  
*primary dentition* (γ) *primary teeth* (β) *procedure* (γ) *prognosis* (γ)  
*prolonged bleeding* (β) *proper* (α) oral *prophylaxis* (γ) to *pull out* (β)  
the *pulp* (γ) *purpose* (β)
- R *rather* (α) to *reach* (α) *reaction* (β) to *recede* (β) *recession* (β)  
to *recommend* (α) to *recur* (β) *redness* (γ) to *reduce* (β) *tooth reduction* (γ)  
be *referred to* - (β) to *relieve* (β) *remaining teeth* (β) to *remove* (β)  
to *replace* (α) to *reschedule* (α) *resistance* (γ) the *rest* (α) *restoration* (γ)  
to *restore* (β) *rheumatic fever* (β) to *rinse* (α) *root* (β) *rough* (α)
- S to *sacrifice* (α) *saline* (β) *saliva* (β) to *save* (β) to *scale* (β) *scaler* (β)  
*scalpel* (γ) dental *scientist* (β) to *scrape* (β) to *seal* (β) to *see a dentist* (β)  
be *sensitive to* - (β) *sensitivity* (β) a *severe pain* (β) *shape* (α) a *sharp pain* (β)  
*shot* (β) to *shrink* (β) *side effects* (β) *sign* (β) *site* (β) *six year molar* (γ)  
to *sleep on one's back* (α) to *sleep on one's stomach* (α)  
to *slide the jaw* (forward) (β) a *slight pain* (β) *smooth* (α) *solution* (β)  
*sore* (β) *soreness* (β) *sore spot* (β) *space maintainer* (β) *stain* (β)  
*starches and sugars* (β) *sterile* (β) to *sterilize* (β) *stitches* (β) *stomatology* (γ)  
to *straighten* (β) *strain* (β) *strength* (α) *structure* (β) to *suggest* (β)  
be *sure to* ~ (α) the *surface* (α) *surrounding tissues* (γ) to *suture* (γ)  
to put in some *sutures* (γ) *swelling* (β) *swollen* (β) *symptom* (γ) *syringe* (β)
- T *tablet* (β) to *take care of a bill* (α) to *take a tooth out* (β) to *tap* (α)  
*tartar* (β) (dental laboratory) *technician* (β) *temporary* (β) *thoroughly* (α)  
a *throbbing pain* (β) to *throw up* (α) *thumb-sucking* (β) to *tilt* (α) *tip* (α)  
*tissue* (s) (β) the *tongue* (β) *tonsil* (s) (γ) *toothache* (β) *toothbrush* (β)  
*toothbrushing* (β) *tooth-colored* (β) *toothpaste* (β) *topical fluoride* (γ)  
(dental) *treatment* (β) *treatment plan* (γ) to have *trouble with* - (β) *turbine* (β)

- U *uncomfortable* ( $\beta$ )    *the upper teeth* ( $\beta$ )  
V *to vomit* ( $\alpha$ )  
W *wax form* ( $\beta$ )    *to wear a denture* ( $\beta$ )    *to wear off* ( $\beta$ )    *whitening ability* ( $\beta$ )  
*wisdom tooth* ( $\beta$ )    *to work* ( $\alpha$ )    (*The bite is*) *wrong* ( $\beta$ )  
X *to take X-rays* ( $\beta$ )

\* 計 410 Key Words。 ( $\alpha$ )、 ( $\beta$ )、 ( $\gamma$ ) の分類は、あくまでも目安として掲げるものである。 ( $\alpha$  = 一般英語     $\beta$  = 歯科一般英語     $\gamma$  = 歯科専門英語)

- (注1) 「傷害、死」は *caries* の原義であり、現在この意味で *caries* は使われていない。一方、「空洞、穴」、「腐食」はそれぞれ *cavity*、*decay* の第一義であり、現在もこれらの意味で使われている。しかしこれを説明すると話がやや複雑になるので、授業ではこの違いに触れていない。
- (注2) (注3) 『科学英語のセンスを磨く』鈴木英次 化学同人」2頁と8頁の表の数値を用いて作成した。*science(s)*、*applied science(s)* において、可能性、確率を表す語群の理解はきわめて重要であると思われる。
- (注4) *ibid.* p. 8
- (注5) *ibid.* p. 3
- (注6) 英語という言葉は、その大きな特徴として「単純化」を志向していると言われる。この言語の表現上の歴史を調べるとそれがよく分かる。(英語は今後さらに単純化され、未来において中国語に近い形になるであろうと予測する学者もいる)しかし名詞の概念(不定冠詞/定冠詞と単数形/複数形により差別化)の厳密性は今後も保たれるであろうとする見方が有力であると思われる。